

教育福祉常任委員会会議記録

1. 期 日 令和2年8月19日(水) 開会 14時00分
閉会 14時05分
2. 場 所 第1委員会室
3. 付議案件 閉会中の継続調査(所管事務調査)について
「移動が困難な町民の生活を支える仕組み」
4. 出席者 渡辺委員長、露木副委員長、松崎委員、小笠原委員、前田委員、
一石委員、野地議長
傍聴議員 1名
一般傍聴者 0名
議会事務局 1名 課長

閉会中の継続調査(所管事務調査)について 「移動が困難な町民の生活を支える仕組み」

委員長 ただいまより、教育福祉常任委員会を開催する。本日の議題は閉会中の継続調査(所管事務調査)についてである。この調査報告書が正式なかたちで執行者の方に提出するということになる。それと付随資料については、まだ修正ができていないわけではない。まず概要について、お手元についているので報告する。第2回定例会以降の継続調査についてである。今日まで6回やっている。それから2回、健康福祉部に出席要請をしている。先ほどの論議でもあったように、本委員会では移動支援に係る課題について広範囲にわたる議論を行い、提言書を別紙のとおり作成をした。提言書自体はお手元についている通りである。先ほどの調査研究会で意見交換した内容を反映していると思う。一応、この提言について報告し、執行者に対して説明をする段階で提案の背景、資料についてを添付したかたちで提出するということになる。以上である。もう直ってきたので、ここを直したという話はしない。

露木 調査研究会の最後の日だけ曜日が抜けてしまっているの、そこを足していただければ良いと思う。

委員長 私の方から一言だけある。今日は実質、9月議会提案まで最後の委員会になると思う。先ほど研究調査会の方でも意見交換があったが、私自身も勉強することは、この間あった。やはり委員会として調査するというのにあたり、テーマを絞り込むとそれぞれの立場の違いが明らかになる。テーマが広ければ、どうしても一般論になってしまう。この間、1つは絞り込むのが非常に難

しかっただかなと思う。そこは私自身反省をしている。そういうことになると、今度逆に絞り込むと、それぞれ地区の状況も違うことが明らかになってきた。梅沢や上町、下町、中町あたりの状況と、百合が丘だとか、それぞれ違う状況があり、そこに焦点をあてていけば、かなり具体的にこうしてくれという話もしやすかったかもしれない。そこがちょっと絞りきれなかったのが私自身の1つの反省である。もう1つは所管事務のことについて初めからクリアにもっておけば良かったのかなと思う。ただ、そういう中で実際に手分けして調べて、汗もかき、実情を見ることもできたので、それは無駄にはならない、無駄にしてはいけないという気持ちである。以上、私の感想だけを述べさせていただいた。継続調査報告書については、お手元にお配りしている内容、先ほどの曜日が抜けているところを直して正本とさせていただきたいので、よろしく願う。

それでは今日の教育福祉常任委員会を閉会とする。

閉会 14 時 05 分